

埼玉県における特定外来生物マスカラットの生息状況

○安野 翔, 角田裕志 (埼玉県環境科学国際センター)

E mail: yasuno.natsuru@pref.saitama.lg.jp

マスカラットとは?



県民からの提供写真

マスカラット *Ondatra zibethicus* (げっ歯目ネズミ科)

北米原産の半水生げっ歯類。
戦前に毛皮用に輸入、養殖されたものが遺棄され、野生化。
2006年に**特定外来生物**に指定。

頭胴長: 25~35cm 尾長: 20~25cm

生息環境: 湿地、湖沼、河川の緩流域
水中に入口のある巣穴を土手に掘って生活。

行動圏: 止水環境 巣穴を中心に約2000km²以下
(Schooley & Branch 2006. J Mammal)
流水環境 河川・水路沿いに約1km以下
(Ahlers et al. 2010. Wildlife Biol)

食性: 植物食に偏った雑食
主にトクサ属、スゲ属、フトイ属等の植物を摂食。
(Danell 1978. Ann Zool Fenn)
二枚貝等の水生動物を餌とすることもある。
(Owen et al. 2011. Freshw Biol)

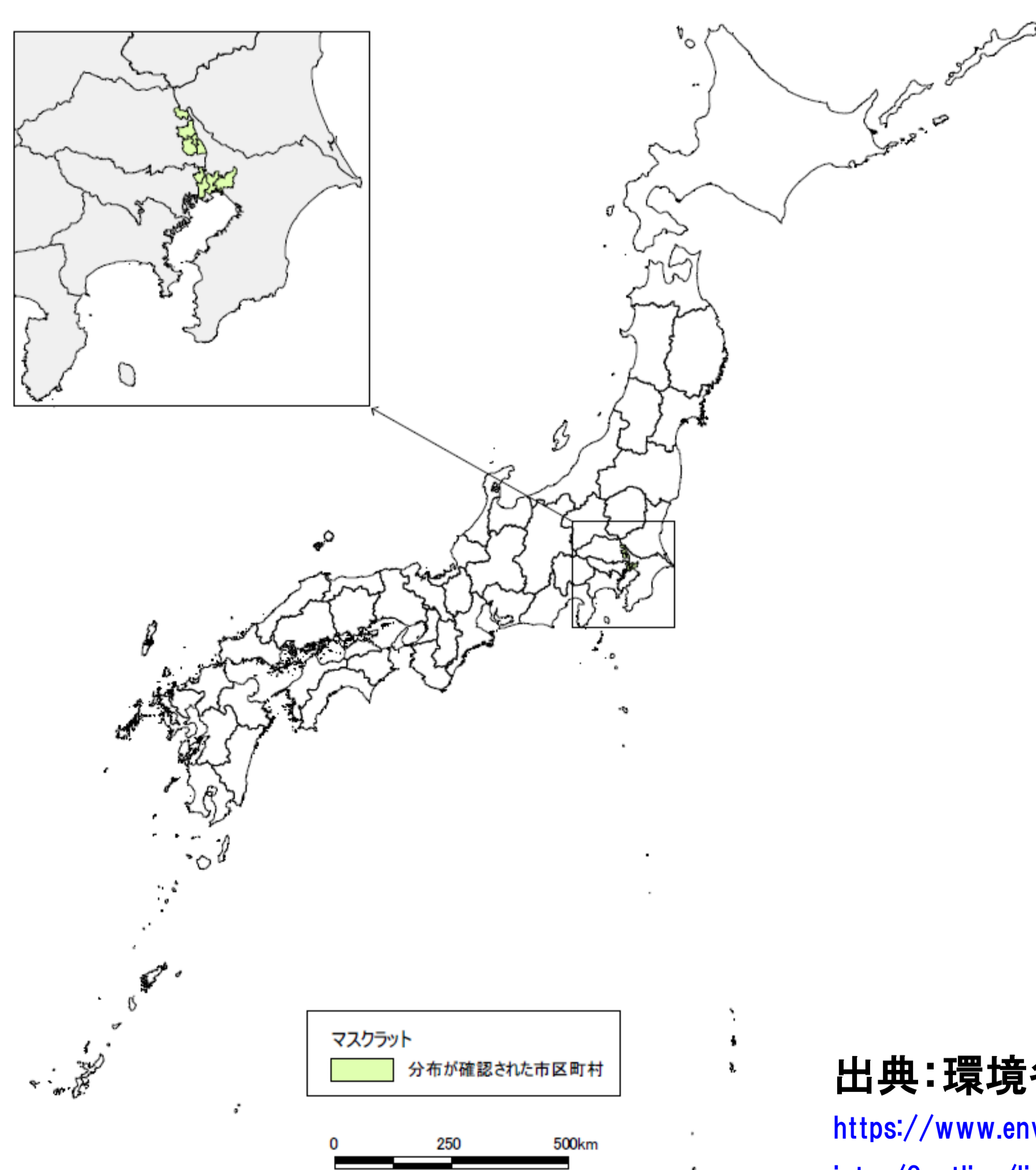
海外での捕食者: ミンク等のイタチ科哺乳類
(Brezinski et al. 2011 Eur J Wildlife Res)

【海外での被害事例】

- ・水生動植物(二枚貝等)を捕食
- ・土中に穴を掘ることによる堤防決壊

【国内の分布状況】

江戸川・中川水系(東京都、千葉県、埼玉県の3県境)



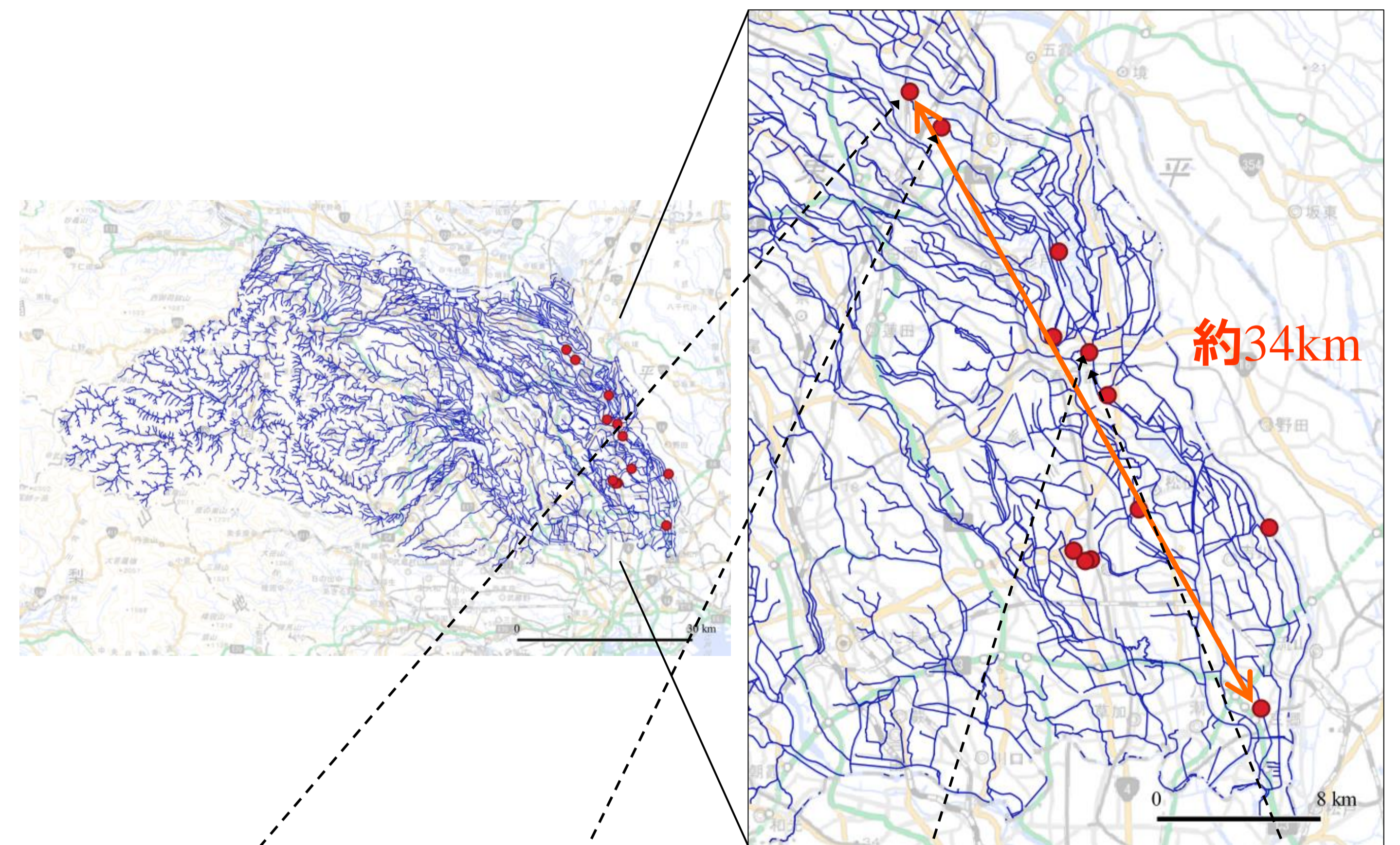
しかし、国内における本種の生態や生息状況、被害に関する知見は限られている。

埼玉県における分布状況

1. 県内の目撃情報の整理

自治体や市民から寄せられた目撃情報を基に、県内における本種の分布状況を整理した。

目撃件数 **17件** (2011~2019年)
江戸川・中川水系の県内7市町)
比較的大きな河川本流 (江戸川、古利根川、元荒川)
支流、農業水路、住宅街の小水路



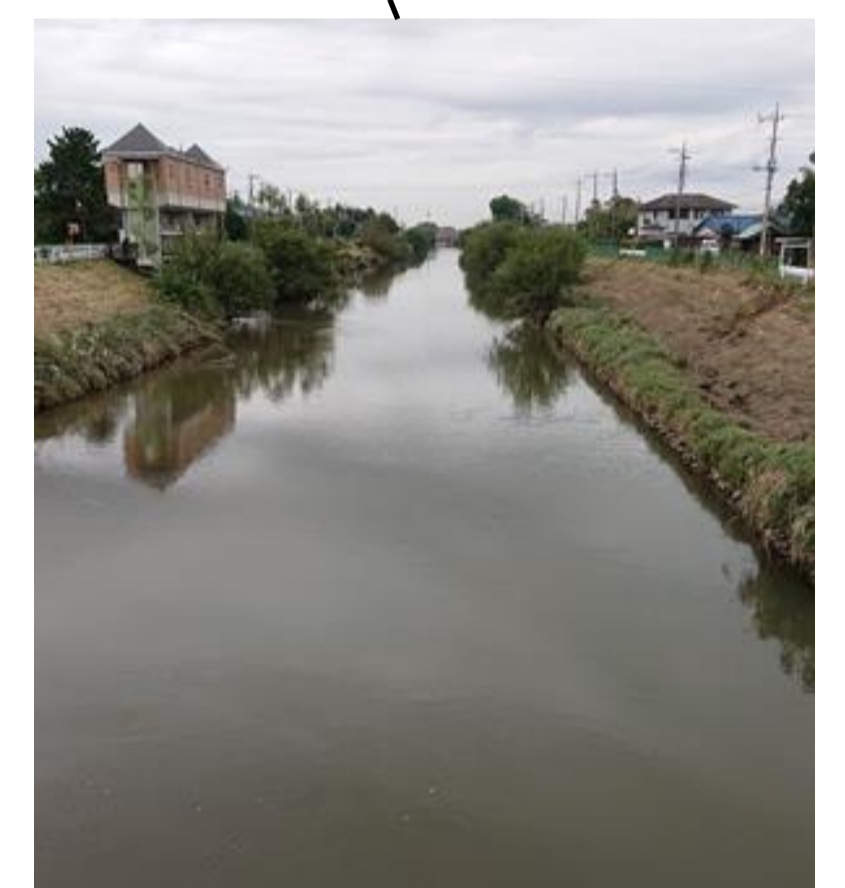
三面張水路
(久喜市)



農業用水路
(久喜市)



倉松川
(春日部市)



中川
(春日部市)

2. 目撃地点における踏査

2019年10月にマスカラットの目撃情報のある地点(久喜市および春日部市)において、現地踏査を行ったが、姿を確認できなかった。踏査時には水田の落水後であったため、農業用水路の水位が低下していた。水位変化により水域内の分布や行動パターンに変化が生じているのかも知れない。

今後の調査について

- ①過去に目撃情報のある河川や水路にて、双眼鏡を用いて定性的な調査を行う。
- ②出現頻度等を踏まえ、より定量的なラインセンサスまたは定点調査を実施し、行動範囲を絞り込む。
- ③上記調査に基づき、GISを用いて生息環境を解析する。
- ④自動撮影カメラを設置し、行動を詳細に解析。
- ⑤糞分析、生息環境の植生調査を行う。